



クラウド・コンピューティング環境における Oracle ソフトウェアのライセンス

本資料は、以下のベンダーが提供するクラウド・コンピューティング環境に適用されます:

Amazon Web Services – Amazon Elastic Compute Cloud (EC2), Amazon Relational Database Service (RDS) Microsoft Azure Platform (以下、これらを「承認されたクラウド環境」と表記します)

本ポリシーは、[これらのOracle製品プログラム](#)に適用されます。

承認されたクラウド環境におけるOracleプログラムのライセンス許諾の際には、以下のようにカウントする必要があります。

- Amazon EC2 and RDS - ハイパースレッディングが有効の場合 2 vCPU = 1 Processor, ハイパースレッディングが無効の場合 1 vCPU = 1 Processor
- Microsoft Azure - ハイパースレッディングが有効の場合 2 vCPU = 1 Processor, ハイパースレッディングが無効の場合 1 vCPU = 1 Processor

なお、承認されたクラウド環境において Oracle Processor ライセンスをカウントする場合、Oracle Processor Core Factor Table は適用されません。

製品名称にStandard Edition One、Standard Edition 2もしくはStandard Editionが付くプログラムが許諾される場合、インスタンスのサイズに基づく価格設定がなされます。承認されたクラウド環境のインスタンスが4 Amazon vCPU以下の場合、もしくは、4 Azure vCPU以下の場合、1ソケット、すなわち1 Processorとしてカウントされます。承認されたクラウド環境のインスタンスが4 Amazon vCPUもしくは4 Azure vCPUを超える場合は、Amazon vCPU数もしくはAzure vCPU数を4で割り、小数点以下を切上げてソケット数を計算します。

本ポリシーにより、Oracle Database Standard Editionを使用できる承認されたクラウド環境のインスタンスは、保有するバーチャル・コア数がAmazon vCPUの場合16以下、Azure vCPUの場合16以下であることが条件となります。

Oracle Database Standard Edition One、Standard Edition 2を使用できる承認されたクラウド環境のインスタンスは、保有するバーチャル・コア数がAmazon vCPUの場合8以下、Azure vCPUの場合8以下であることが条件となります。Oracle Database Standard Edition 2をNamed User Plusメトリックにて許諾する場合、最少ユーザー数は8 Amazon vCPUもしくは8 Azure vCPUあたり10 Named User Plusとなります。

計算例 承認されたクラウド環境で Oracle Database Enterprise Edition (Processor ライセンス)を許諾:

1つの承認されたクラウド環境のインスタンスにおいて、ハイパースレッディング有効の4 Amazon vCPUの場合、2 Processor ライセンスが必要となります。(2 Amazon vCPU = 1 Oracle Processor ライセンス)

また承認されたクラウド環境において、Named User Plusライセンスを適用することができます。その際、製品によっては最少契約数の制限が適用されます。

承認されたクラウド環境において Oracle Enterprise Linux Support を使用する際は、各承認されたクラウド環境のインスタンスが「System」としてカウントされます。Enterprise Linux Basic Limited と Enterprise Linux Premier Limited のサポート提供については、承認されたクラウド環境のインスタンスが保有するバーチャル・コア数が Amazon vCPU の場合 8 以下、Azure vCPU の場合 8 以下であることが条件となります。

Oracle Corporation 発行「Licensing Oracle Software in the Cloud Computing Environment」の翻訳版です。(2018年1月24日更新)

本文書は、オラクル・ライセンスのポリシーに関するガイドラインを教育目的に限って提供するものです。本文書は、いかなる契約にも組み込まれるものではなく、特定の条件に対する約定や約束を構成するものでもありません。ポリシー及び本文書は予告なく変更される場合があります。本文書は日本オラクル株式会社の書面による明示的な許諾なく、いかなる方法においても転載することは許されておりません。

日本オラクル株式会社

数量無制限使用プログラム(ULA) により取得されたライセンスは、承認されたクラウド環境で使用することはできますが、それらのライセンスを ULA 期間が終了する際の証明書に含めることはできません。

上記の例は、単に例示を目的とするものです。

Oracle Corporation 発行「Licensing Oracle Software in the Cloud Computing Environment」の翻訳版です。(2018年1月24日更新)

本文書は、オラクル・ライセンスのポリシーに関するガイドラインを教育目的に限って提供するものです。本文書は、いかなる契約にも組み込まれるものではなく、特定の条件に対する約定や約束を構成するものでもありません。ポリシー及び本文書は予告なく変更される場合があります。本文書は日本オラクル株式会社の書面による明示的な許諾なく、いかなる方法においても転載することは許されておりません。

日本オラクル株式会社